

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		愛心子どもの家				公表日	令和8年 2月 27日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・活動に応じて活動場所を分けている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○	・活動内容によって職員を多めに配置している。	・職員の数人が少なめの時期があるので、常に職員をしっかりと配置できるようにしていきたい。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・カレンダーやスケジュール等、絵カードや文字を使い、理解しやすいようにしている。	・一人一人が分かりやすい絵カード等を積極的に活用したい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・刺激になる物は、極力置かないようにしている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・個別活動の場所を設定していて、個室や必要に応じて相談室での個別活動も行っている。また、パーテーションを適宜使用している。 ・必要に応じてイヤーマフの活用をしている。 ・会議等で行っている。	・より集中できる環境調整を考えていきたい。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○			・より詳しく丁寧に行ってきたい。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・評価表の意見を把握し対応している。	・今後も送迎時、面談時や評価表を通じて保護者の方の意見などを把握していきたい。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・会議等で行っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・第三者評価は受けていない。	・今後検討していきたい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・職場内研修を行っている。（サポートर्स・カレッジの活用、法人ガイドラインの周知） ・強度行動障害養育者研修の受講、その他研修への参加を促している。	・職員の質の向上をより図ってきたい。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・日々の支援や保護者の方、相談支援事業所の情報なども含めて計画作成をしている。	・内容は必要に応じて変更しながら個々の子どもに対応していきたい。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・会議等で行っている。	・共通理解が深まるよう検討することを続けていきたい。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・気づきはその日の振り返りの場で行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・保護者の方や相談支援事業所から頂いた情報と日々の活動から確認している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○				

	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・会議等で行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・季節の行事を行っている。	・個々の子どもに応じたプログラムをより検討していきたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・子どもの特性に応じて設定している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・支援前にはその日の勤務の職員で集まり打合せを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・勤務の最後にその日の勤務の職員で集まり、振り返りを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・記録をとっており、振り返ることができるようにしている。	・必要に応じて検証などを行っていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・半年に1度「モニタリング」を行っている。	・必要に応じて計画の見直しを行っていく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		・地域の図書館や公園に定期的に行っている。 ・行事等では、子どもの意見をききながら意見が反映されるようにしている。	・主体的に参画できる活動では、場面の設定を工夫しながら皆の意見がきけるようにしていきたい。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・余暇時間では、視覚的に複数の中からしたい遊びが選択できるようにしている。また、中遊び・外遊びが選択できるようにしている。	・選択が限定的な場面だけにならないようにしていきたい。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児童発達支援管理責任者が参画している。	・可能であれば、現場の職員も同席できればよい。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・学校や事業所とは連携できるように取り組んでいる。	・学校や事業所との連携をもっと強化したい。 ・主治医の意見を保護者よりきくことはあるが、医療との連携は課題である。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・学校の情報配布のプリント、ホームページ等で確認している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・就学前に利用している幼稚園や事業所との引き継ぎ会に参加させていただき予定である。	・相談支援事業所と連携しながら進めていきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・この1年対象者はいない。	・対象者がいる場合は、相談支援事業所と連携しながら進めていきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		・児童発達支援センター主催の研修に任意だが参加を促している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		・現在行っていない。	・検討していきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		・現在参加していない。	・必要に応じて時間が許す限り参加したい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・送迎時や連絡帳を通じて共有を図っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・先輩のご家族も参加していただく茶話会を計画している。	・ご家族向けの「愛心だより」で、日ごろの生活に役立つ関わり方や情報等を発信していくことを検討したい。

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時や面談時等で説明をしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・サービス等利用計画に沿いながら、面談でお話をさせてもらっている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・計画を説明しながら同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・適宜お話をさせてもらっている。 ・話を聴く姿勢を常に持つようになっている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○		・みかん祭りや餅つき等の保護者、きょうだい参加型のイベントで交流する機会を設けている。 ・定期的に保護者が集まる茶話会を開催し、保護者同士で交流する機会を設けている。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・保護者の方からご意見をいただいたときは、迅速に対応させていただき、ご意見をしっかり聴くようになっている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・月に一回「あいしんだより」を発行、配布している。 ・ホームページで活動概要やブログでの活動の様子を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・契約時にご意向のアンケートをとられていただき、その意向によって対応させていただいている。	・定期的に確認していく。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・子どもには、個々に合わせて絵カードや文字を使って情報伝達をしている。 ・保護者の方とは必要に応じてLINEを通じて連絡をさせていただいている。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・地域との関わりは薄いのが現状である。	・他の事業所の例なども参考にしていきたい。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・定期的な研修・訓練を計画している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・定期的に避難訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		・てんかん発作のある子どもについては、保護者と情報共有を図って、職員が共有している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・対象の子どもがいない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			・家族等への周知を図っていきたい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・その都度、確認している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・定期的に職場内研修を実施している。	・事例検討を含め、幅広く学んでいきたい。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・該当する場合は記載するようになっている。	